

**新型コロナウイルス感染症対策にかかる市民アンケート調査
結果報告書**

1 調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法	1
(3) 調査の期間	1
(4) 回答件数	1
(5) その他の留意点	1

2 調査結果

(1) 回答者の性別	2
(2) 回答者の年齢	2
(3) 回答者の居住地	2
(4) 回答者の職業	3
(5) 回答者の業種	3
(6) 回答者の家族構成	4
(7) 回答者の世帯人数	4
(8) 子育てや介護、その他の支援が必要な方の有無	4
(9) 回答者の世帯年収	5
(10) 感染症が流行し、生活への影響はありましたか	5
(11) 家計について、経済的支援が必要ですか	5
(12) コロナ関連情報の入手方法を教えてください	6
(13) 感染症が流行し、特に困っていることは何ですか	6
(14) (13) に対して、どのくらい困っていますか	7
(15) パソコンやスマートフォンをお持ちですか	7
(16) パソコンやスマートフォンの操作に不安や苦手意識がありますか	7
(17) インターネット通販を利用されますか	8
(18) リモートワークや在宅勤務など、新しい働き方について、 感染症が収束しても行って行きたいと思いませんか	8
(19) 電子マネーを利用して、買い物をされたことがありますか	8
(20) 電子マネーを利用したことがない方のご意見	9
(21) マイナンバーカードをお持ちですか	9
(22) マイナンバーカードを取得していない方のご意見	9
(23) マイナンバーカードの申請・受付のため、市役所の窓口 行きやすい時間帯はいつですか	10
(24) ワクチン接種を受けたいと思いませんか	10
(25) 行政サービス等の申請手続きをするとき、一番利用したいものは何ですか	10

令和3年8月31日

丹波市 ふるさと創造部 新型コロナウイルス感染症対策室

1 調査の概要

(1) 調査の目的

丹波市における新型コロナウイルス感染症による影響を市民目線で調査し、今後の対応方針の決定や、ポストコロナ社会を見据えた施策立案に活用するため実施した。

(2) 調査の方法

- ①市公式ホームページのアンケート機能を用いて、同一のパソコンから重複回答に制限を設けた上で実施した。
- ②新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の来場者に待ち時間を利用し、アンケート用紙を記入いただいた。
- ③各支所、住民センター窓口にアンケート用紙を設置。

(3) 調査の期間

令和3年7月20日から8月13日まで（25日間）

(4) 回答件数 371件

- ・市公式ホームページ 269件
- ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場 101件
- ・各支所、住民センター窓口 1件

(5) その他の留意点

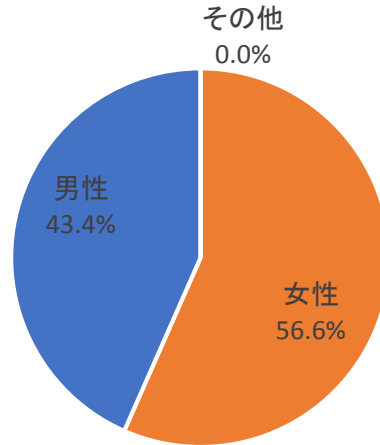
本文中の設問の選択肢について、文字数の多いものは簡略化している場合がある。また、複数回答や未回答があるため、回答件数を超えるものや下回るものがある。

2 調査結果

(1)回答者の性別(回答総数:371)

男性が43.3%、女性が56.6%となっている。

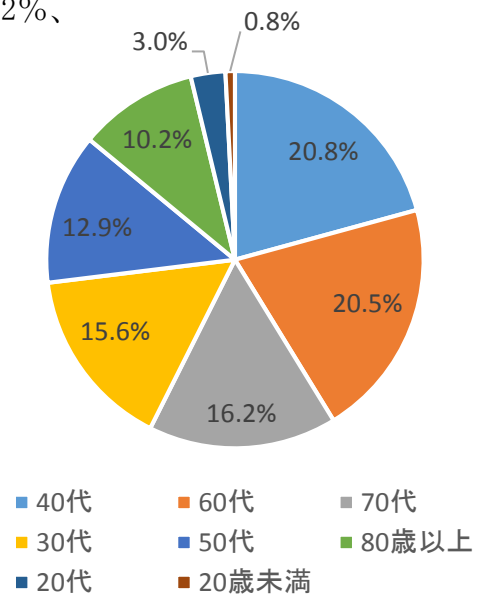
男性	161
女性	210
その他	0



(2)回答者の年齢(回答総数:371)

40代が最も多く20.8%、次いで60代の20.5%、70代の16.2%、30代の15.6%、50代の12.9%、80歳以上の10.2%、20代の3.0%、20歳未満の0.8%と続く。

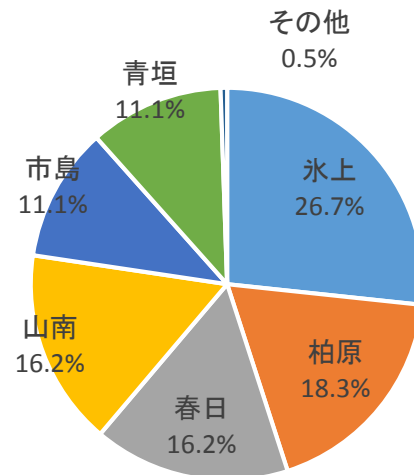
20歳未満	3
20代	11
30代	58
40代	77
50代	48
60代	76
70代	60
80歳以上	38



(3)回答者の居住地(回答総数:371)

氷上26.7%が最も多く、柏原18.3%、春日16.2%、山南16.2%、市島11.1%、青垣11.1%と続く。

氷上	99	青垣	41
柏原	68	山南	60
春日	60	その他	2
市島	41	合計	371

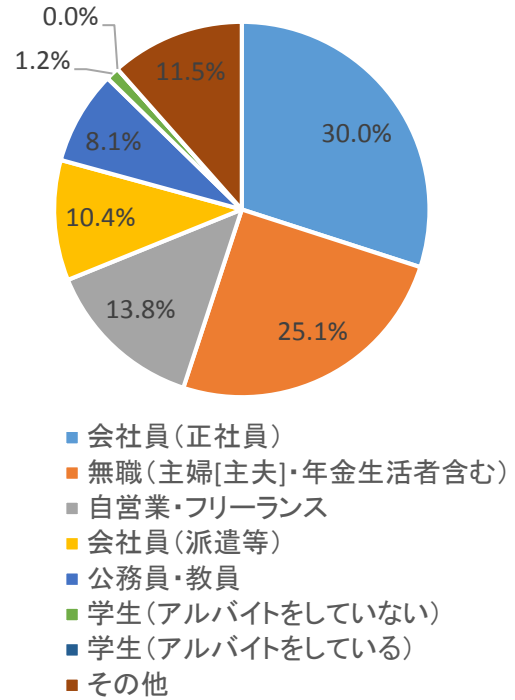


(4) 回答者の職業(回答総数347)

職業を持っている方は、256人で回答総数の74.9%を占める。

無職の方は、87人で25.1%となっている。

会社員(正社員)	104
無職(主婦[主夫]・年金生活者含む)	87
自営業・フリーランス	48
会社員(派遣等)	36
公務員・教員	28
学生(アルバイトをしている)	0
学生(アルバイトをしていない)	4
その他	40

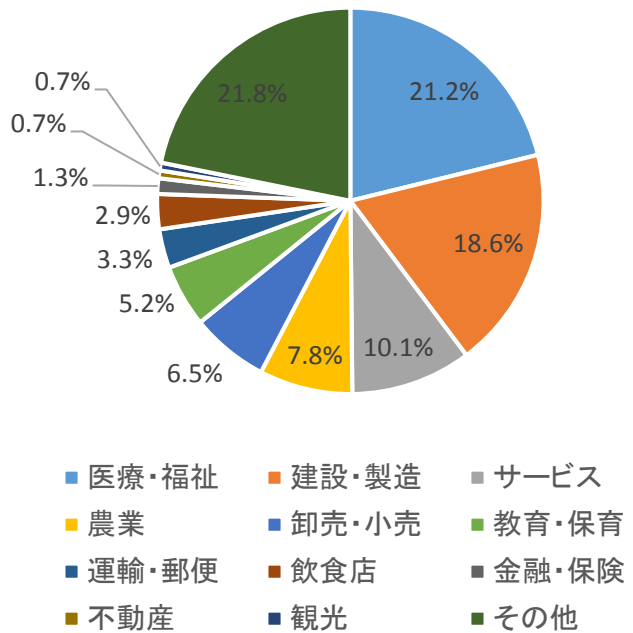


(5) 回答者の業種(回答総数:307)

医療・福祉に携わる方は65人で回答総数の21.2%、建設・製造業18.6%と多くを占める。

次に、サービス業10.1%、農業7.8%、卸売・小売業6.5%、教育・保育5.2%と続く。

医療・福祉	65
建設・製造	57
サービス	31
農業	24
卸売・小売	20
教育・保育	16
運輸・郵便	10
飲食店	9
金融・保険	4
不動産	2
観光	2
その他	67

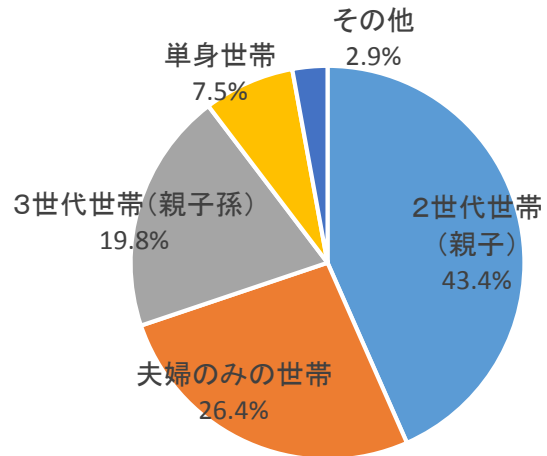


(6) 回答者の家族構成(回答総数:348)

2世代世帯が回答総数の43.4%を占める。

次いで、夫婦のみの世帯26.4%が多い。

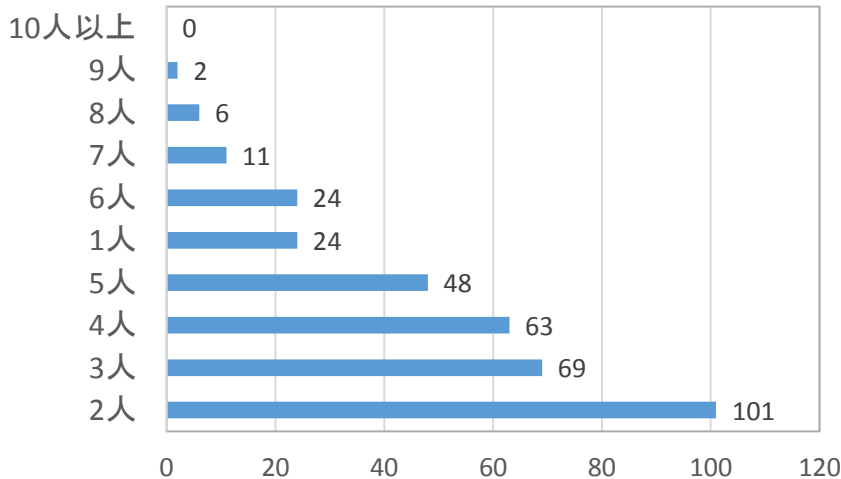
2世代世帯(親子)	151
夫婦のみの世帯	92
3世代世帯(親子孫)	69
単身世帯	26
その他	10



(7) 回答者の世帯人数(回答総数:348)

2人世帯が101人で最も多く、回答総数の29%を占める。

3人世帯19.8%、4人世帯18.1%、5人世帯13.8%、1人世帯6.9%と続く。

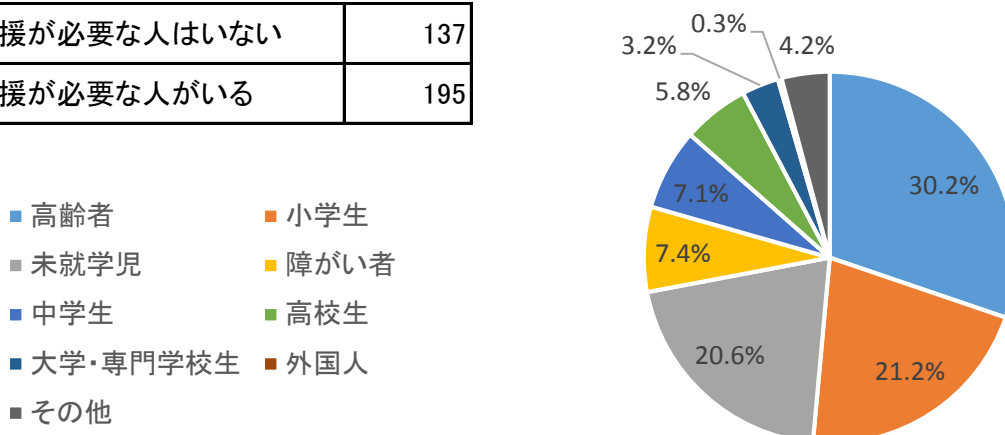


(8) 子育てや介護、その他の支援が必要な方の有無

支援が必要な人がいると回答された方の中で子育て世帯は57.9%を占める。

ついで、高齢者の支援をされている方が30.2%が多い。

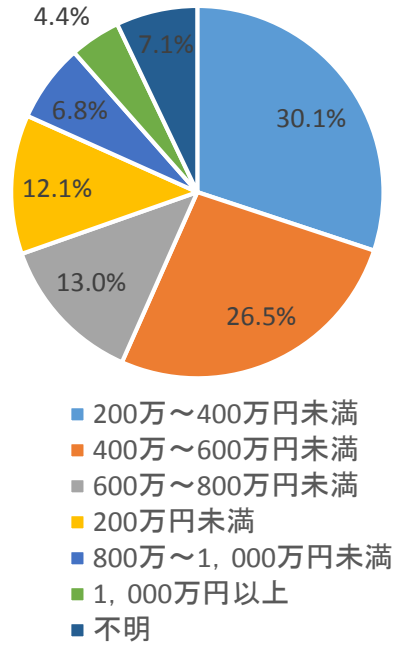
支援が必要な人はいない	137
支援が必要な人がいる	195



(9) 回答者の世帯年収(回答総数:339)

200万～600万円の世帯が56.6%を占める。
次に600万～800万円未満が13.0%、
200万円未満12.1%と続く。

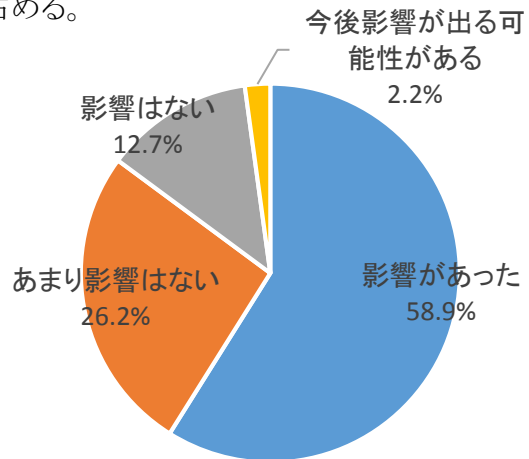
200万～400万円未満	102
400万～600万円未満	90
600万～800万円未満	44
200万円未満	41
800万～1,000万円未満	23
1,000万円以上	15
不明	24



(10) 感染症が流行し、生活への影響はありましたか。(回答総数:370)

今後影響が出る可能性がある、影響があったと回答した方が61.1%を占める。
一方、影響を感じていない方は、38.9%を占める。

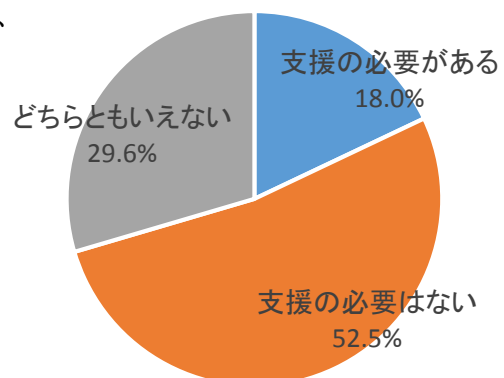
影響があった	218
あまり影響はない	97
影響はない	47
今後影響が出る可能性がある	8



(11) 家計について、経済的支援が必要ですか。(回答総数:362)

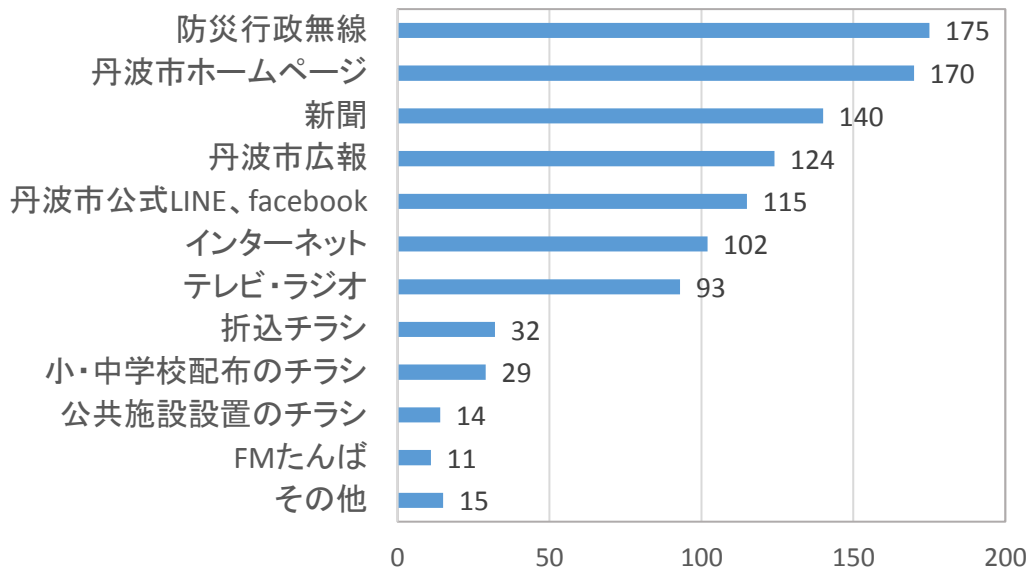
金銭的に特に支援の必要を感じている方は、
回答総数の18.0%となっている。

支援の必要がある	65
支援の必要はない	190
どちらともいえない	107



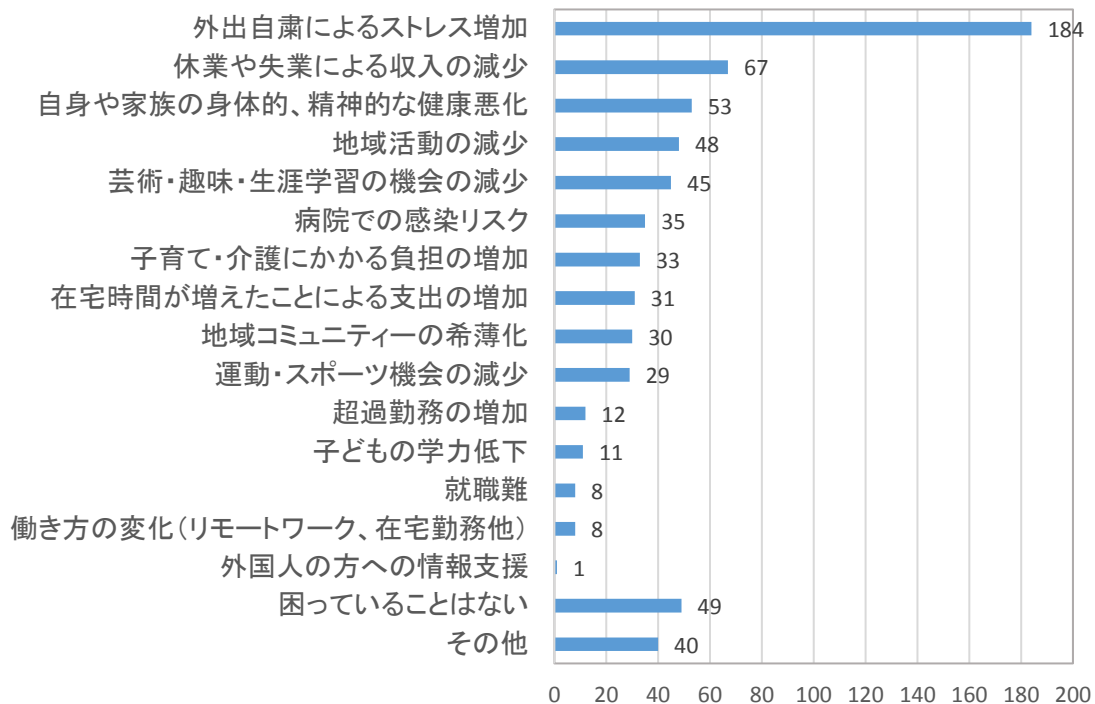
(12) コロナ関連情報の入手方法を教えてください。(回答総数:1020)

防災行政無線や市ホームページ、新聞、市広報、市LINE、facebookから情報入手をしている方が多い。



(13) 感染症が流行し、特に困っていることは何ですか。(回答総数:684)

外出自粛によるストレス増加が突出している。飲食店等の時短営業や市内公共施設の利用休止、地域行事の中止、学校活動の規制などの影響が大きい。支出の増加や収入の減少に困っておられる方が次に多い結果となった。

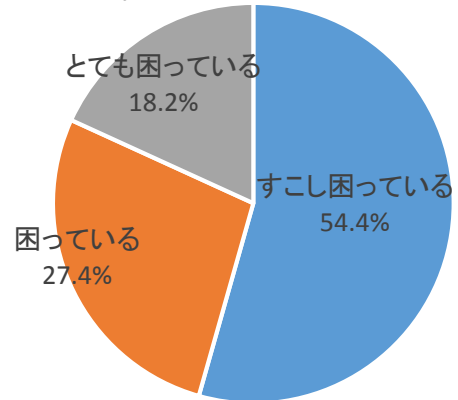


(14)(13)に対して、どのくらい困っていますか。(回答総数:649)

すこし困っていると回答した方が54.4%を占める。

困っている、とても困っていると回答した方は、45.6%となる。

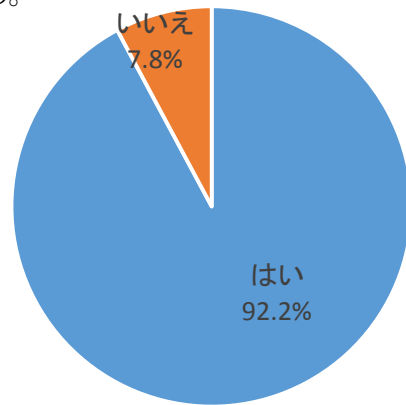
すこし困っている	353
困っている	178
とても困っている	118



(15)パソコンやスマートフォンをお持ちですか。(回答総数:345)

パソコンやスマートフォンの所持者は、92.2%を占める。

はい	318
いいえ	27

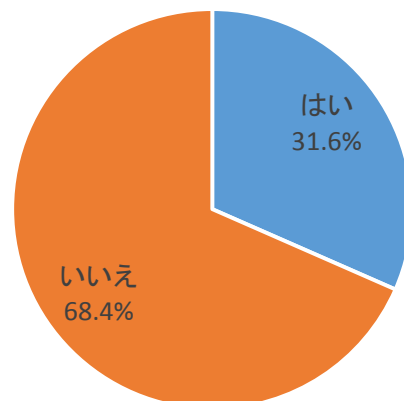


(16)パソコンやスマートフォンの操作に不安や苦手意識がありますか。

本アンケートは、インターネット回答が269件となっており、

比較的パソコンやスマートフォンを活用している方が多くなっている。

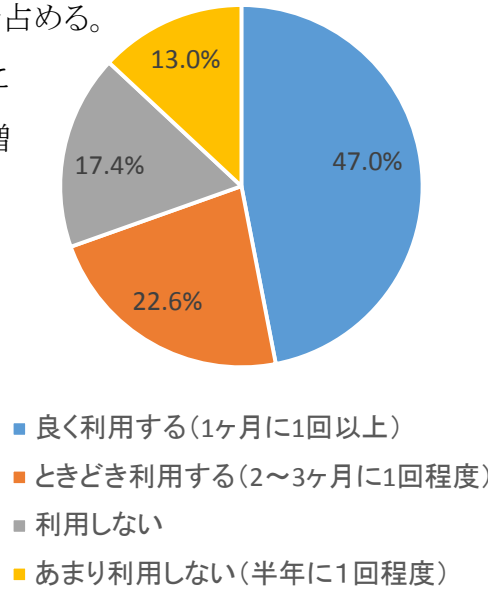
はい	108
いいえ	234



(17) パソコンやスマートフォンでインターネット通販を利用されますか。(回答総数:345)

インターネット通販を利用されている方は、82.6%を占める。
インターネット通販の活用は高齢者の買い物支援につながるが、70代以上から利用しない方の割合が増える。

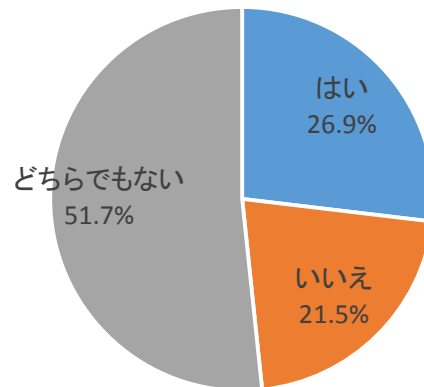
良く利用する(1ヶ月に1回以上)	162
ときどき利用する(2~3ヶ月に1回程度)	78
あまり利用しない(半年に1回程度)	45
利用しない	60



(18) リモートワークや在宅勤務など、新しい働き方について、感染症が収束しても行っていきたくて思いますか。(回答総数:331)

リモートワークや在宅勤務など、新しい働き方について肯定的な方は26.9%を占める。
この質問に関心がない、または否定的な意見の方は73.2%となっている。

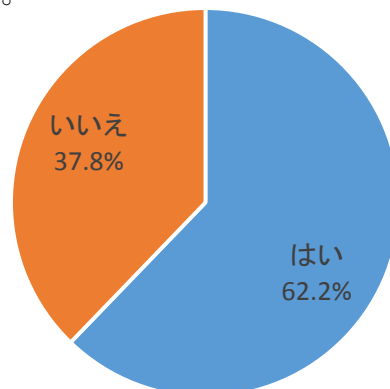
はい	89
いいえ	71
どちらでもない	171



(19) 電子マネーを利用して買い物をされたことがありますか。(回答総数:344)

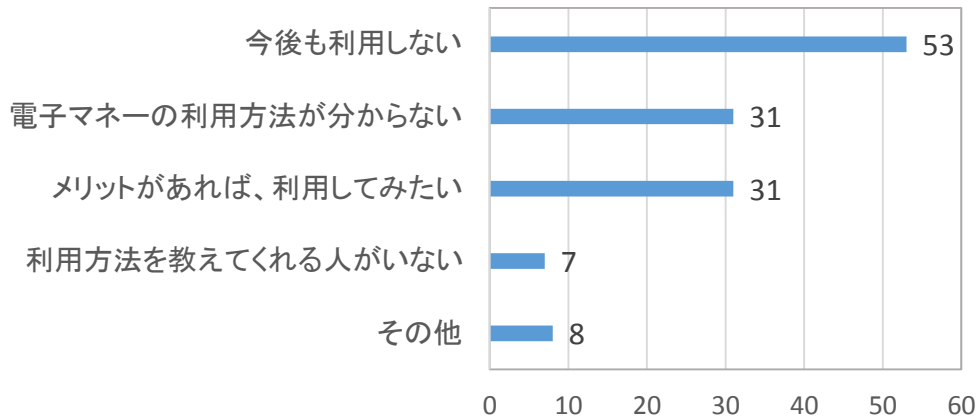
電子マネーを利用したことがある方は62.2%を占める。
60代以上から利用したことがない方の割合が増える。

はい	214
いいえ	130



(20) 電子マネーを利用したことがない方のご意見(回答総数:130)

今後も利用しないと回答された方が最も多い。感染症対策上の非接触・非対面や行政のデジタル化の推進において、市民への啓発方法を検討する必要がある。

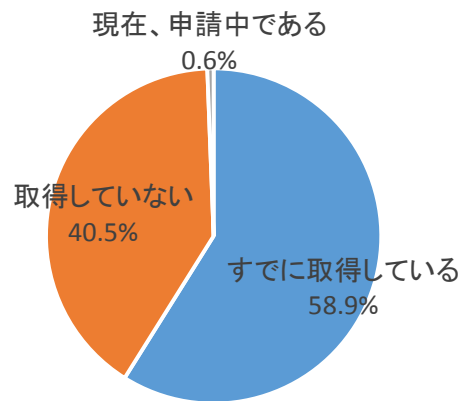


(21) マイナンバーカードをお持ちですか。(回答総数:331)

取得している、申請中の方は59.5%を占める。

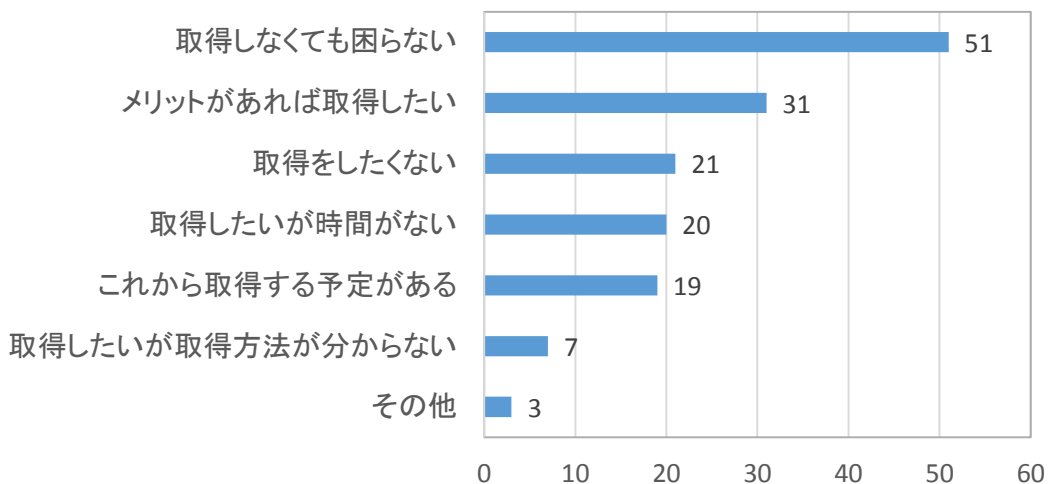
取得していない方は40.5%となる。

すでに取得している	195
現在、申請中である	2
取得していない	134



(22) マイナンバーカードを取得していない方のご意見(回答総数:152)

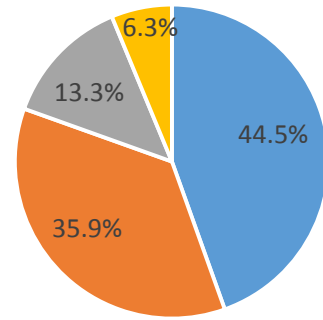
取得しなくても困らないと回答された方が最も多い。マイナンバーカードの普及にあたり、同時進行で、マイナンバーカードの活用基盤を整備していくことで、市民の取得意識向上につながると言える。



(23) マイナンバーカードの申請・受付のため、市役所の窓口に行きやすい時間帯はいつですか。

土・日・祝日を希望する方が44.5%を占め、最も多い。
また、平日(午前9時～午後5時)を希望する方は、35.9%となっているが、年代別に分類すると30代、40代で希望している割合は少ない。

土・日・祝日(午前9時～午後5時)	57
平日(午前9時～午後5時)	46
平日(午後5時～午後7時)	17
その他	8

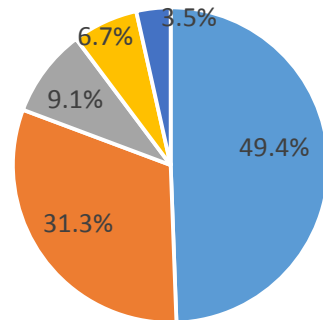


- 土・日・祝日(午前9時～午後5時)
- 平日(午前9時～午後5時)
- 平日(午後5時～午後7時)
- その他

(24) ワクチン接種を受けたいと思いますか。(回答総数:342)

早く接種してほしいと回答した方が31.3%を占めている。
一方、慎重な姿勢の方は15.8%を占める。
ワクチン接種を推奨する上で、正しい情報提供を行い、市民の不安の解消をする必要がある。

すでに接種している	169
早く接種してほしい	107
しばらくまってから接種したい	31
接種したくない	23
その他	12



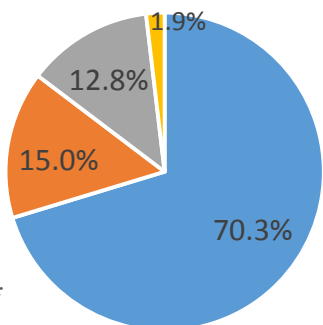
- すでに接種している
- 早く接種してほしい
- しばらくまってから接種したい
- 接種したくない
- その他

(25) 行政サービス等の申請手続きをするとき、一番利用したいものは何ですか。

パソコンやスマートフォンの活用を希望する方が70.3%で、行政サービスのデジタル化に関心が高まっている。

(回答総数:320)

パソコンやスマートフォンを活用した申請手続き	225
郵送による申請手続き	48
窓口での申請手続き	41
その他	6



- パソコンやスマートフォンを活用した申請手続き
- 郵送による申請手続き
- 窓口での申請手続き
- その他

市民の意見一覧（自由記載：回答総数 589 件）

①コロナ禍で困っていること（回答総数：243 件）

○休業や時短営業、失業、ボーナス削減などで収入が減少し、家計に影響を受けている方の声が寄せられています。

（抜粋）

- ・飲食店ですが、協力金などの支援には全く当てはまらず、公的支援は、毎回同じ個人店に行き渡っている状況において、不公平さを感じている。世間では飲食店は、協力金貰っているから、と言う目で見られている。実際、売り上げ額は減少しているが、支援までは、当てはまらない。
- ・取引先の休業や移動の制限などにより商品が売れない。
- ・コロナの為、夏のボーナスも減り、収入がかなり減った。
子どもも3人おり、ひとり親や低所得の家庭だけでなく全世帯対象、また、子どもが複数いる家庭にも支援が欲しい。
- ・母子家庭なのにコロナ禍で失業し、再就職するまで借金で家庭のやりくりをしていた為、再就職しても借金を返せず自転車操業みたいな事になっている。
再就職と子供達の自立が重なり出費が重なり借金は増えたが、扶養が減り住民税非課税世帯じゃなくなり補助も助成金も受けれない。
飲食店だからコロナ禍で暇で残業も付かないし、ボーナスもないから借金で生活をするしかない。

○医療や介護職の方からは、仕事量の増加によるストレスを感じていたり、家族を感染させるかもしれないなど不安の声が寄せられています。

（抜粋）

- ・残業増えたのに、残業代が支払われない。仕事は忙しくなっているのに、ボーナスカット。これでは看護師の離職率高くなるのは当然。
- ・病院勤務のため感染しないか、また持ち帰らないか神経すり減る。
- ・介護職のため、家族の感染を毎日心配している。家庭から施設に持ち込むことのないようにするために、自分のワクチン接種は早くに終わったが、家族は誰もまだ。
早くして欲しい。100%ではないが気持ち的にしているのとしていないのでは違う。

○在宅時間が増加するに伴い、食費・光熱費や家庭ゴミの量が増えたという意見がありました。リモートワークや在宅勤務で自費負担が増えるなどの影響も出ています。

（抜粋）

- ・光熱水費の増額（トイレの回数などが増え、金額にはっきり反映されている）。在宅時間が長い分家庭ごみが増え、ごみ袋がたくさん必要。
- ・リモートワークは全て自費なので 市からも支援出来ればお願いします。
- ・リモートワークのため作業環境の整備や備品、消耗品購入等出費が嵩む。
大型図面など紙の持ち運びが大変、なのでカバンを大型に買い替えたりした。

○全世代で外出自粛によるストレスの増加を感じられている方が多数おられます。芸術や趣味、生涯活動、スポーツ、地域活動の機会が失われ、人間関係の希薄化や心身の不調を実感されています。

子育て世帯では、様々な経験をさせてあげられないことで、子どもの成長や教育に悪影響がないかなど心配される声が届いています。

その他、帰省や介護で高齢の親に会いに行くなどの市や県を跨ぐ移動がし難く、心理的負担や地域付き合いへの影響があったとの意見もありました。

(抜粋)

- ・家族で外食するのに躊躇する。
- ・音楽鑑賞や観劇などが楽しみで、ストレス解消になっていたところ、コロナ禍で好きなことも自粛している状況が続いていることに苦痛を感じています。
- ・子育て支援センターを利用していましたが、コロナで活動ができなかった時期は辛かったです。お母さん同士の集まりができず、話や相談がしにくいのは今でも辛く思います。
- ・子連れでの外出がしにくくなり、子どもも行きたい場所へ行けずストレスがたまり、その負担を減らす方法も限りがある。家でのテレビ時間も増えてしまう。
- ・孫に会いに行けない。
- ・京阪神にいる祖父母が来ると、近所の方に変に気を遣う。
- ・3歳までにこどもの脳が大きくなるため、色々経験させたいと考えていました。しかし、公園などの遊び場は県外のかたが多くいらして土日は遊ばせにくく、旅行もできず、新幹線や電車やバスに乗るのも難しい状況が続いています。こども向けのイベントも自粛され、もっと楽しいことをさせてやりたかったと涙が出るときがあります。県外のかたを閉め出すことはできないのですが、県内のかたを優先するような施策があっても良い気がしました。
- ・いろいろなイベントが中止となり、人のふれあいが少なくなった。
- ・祭りなどの開催ができない。伝統的な祭りもあるため経験できない子供たちも出てくる可能性もある。また、子供たちの楽しみや地域住民との交流も減っている。
- ・地域の高齢者見守り活動(いきいき百歳体操やふれあいサロン)を主催しているが、感染の拡大で中止を余儀なくされたため、集いの場が無くなりみなさんの状況が把握し難くなった。

○子育てに関して、子どもの感染症対策の難しさや学習支援の不足を実感されています。体調不良の際の学校等の対応が分かりにくい状況です。また、子どもの遊び場の確保や妊娠されている方への情報提供が求められています。

(抜粋)

- ・緊急事態宣言時、兄弟が熱や何かしらの体調不良があると、その度に両方園を休ませないといけなくて、家庭での負担が増え、給食代は帰ってこないのに、家での支出が増える。
- ・小さな子供に感染対策はやはり難しく、濃厚接触者に該当した時の2週間の自宅待機は最悪でした。なぜ外に出てはダメなのか、みんなと遊んではダメなのか理解できず、大変でした。
- ・コロナ対策として、発熱、風邪症状がある場合は保育園や学校等に行けない。幼い兄妹等複数いる場合、誰か一人でも発熱等あれば全員を休ませる事になり、仕事へ行く事ができない。丹波市は病児保育も無く、ファミリーサポートも病児は預けることが出来ない。したがって、仕事を休んで保育するしか無く収入も減っている。子どもの数が多い家庭ではそうしたリスクが高く大きな負担となっている。
- ・兄妹等の発熱により、本人は元気でも学校を休んだ場合の学習保証がない。ただその日の宿題等を家庭に配られるだけで、補習などのサポートもない。板書内容を撮影し、プリントアウトして配布したり、データ送信したり、補助プリント等をつけるなど各学校で対応してもらいたい。長期に渡って休んだ場合などの対応が具体的によく分からない。
- ・妊娠や授乳中のワクチン接種の情報がすくない。提供されていない。出産はもちろん、子供の受診も負担。遊べる場所もすくなく、親同士が交流できる場もない。

○介護の負担や高齢世帯が抱える不安が寄せられました。

高齢者の方が、感染リスクを懸念して通院を控えられたり、身近に頼れる方がおらず、また感染症の影響で地域の方にも助けを求めにくい状況があるようです。市外に暮らす高齢の親を心配する声もあります。

(抜粋)

- ・在宅介護で、複数の施設を利用しているが宣言のたび利用のサービスが制限され、仕事との両立が大変だった。
- ・コロナフレイルで親が認知症を発症した。
- ・デイサービスの利用でも感染リスクがある。
- ・自身が身体の不調で主人（介護3）の世話ができず、特別老人ホームに入って今は1人暮らしです。子ども達は遠くに住んでいるため、近くに住む妹や弟のお世話になることがあり、毎日が不安ばかりです。それぞれ年老いています。
- ・二人の生活なので頼れる人が少ない。
- ・病院で感染すると怖い。
- ・離れてくらす、老母の健康状態が気にかかります。

②丹波市で実現したら嬉しいこと、支援が必要だと感じること（回答総数：119件）

○ワクチン接種の迅速化やPCR検査の無料化についての意見がありました。

また、全世帯への給付金の配布や減税、公共料金の支援、子ども医療に関する要望、休業や時短営業に伴う支援施策を求める意見が寄せられています。

(抜粋)

- ・受験生やその家族のワクチン接種を優先してほしい。
- ・ワクチンを一刻も早く配布できるようにしていただきたいです。
無論、国の配布状況踏まえてだとは重々承知していますが、若い人たちにもワクチンが早く接種できるようによろしくお願いします。
- ・県外等への移動の必要がある市民に対して、市の助成により無料もしくは安価に任意のPCR検査が受けられるようにしてもらえると嬉しいです。（可能であれば、県外から丹波市への帰省希望者に対しても…）
- ・丹波市長選挙での、1人あたり5万円支給をかなり期待していました。
その1人あたり5万円支給の口約実現をして貰えたら、今の苦しい状況が緩和出来ていたため、違う形でもいいから希望する全世帯への金銭的な支援の実現をしてほしい。
- ・子供医療費の無料化。収入に関わらず無料にすべき。
せっかく稼いで納税しているのに、納税していない人が優遇されるのはおかしい。
- ・ゴミ袋と上下水道の減額。
- ・住民税を安くしてほしい！給与が激減してるのに高すぎる！
- ・コロナ渦が終息するまで住民税減額、子供の医療費の全員無償化。
- ・小学校やこども園などで、感染のリスクの少ない行事を増やしてあげて欲しい。
- ・医療・福祉・保育従事者への金銭的支援による人材不足解消と一極集中の是正。
飲食店の閉店が続いている事に対する対策。
- ・時短要請に応じている飲食店の従業員に対する支援もして欲しいです。
- ・年齢を問わないパソコン教室等
- ・市民の声をダイレクトに細やかに吸い上げるシステム

③新型コロナウイルスワクチン接種について（回答総数：115件）

○早い接種を望む意見も多数ありましたが、副反応への不安や、ワクチン接種のリスクに関する情報提供を求める意見も多く見られました。ワクチン接種は任意で受けるものであり、ワクチン接種を受けないことを選択された方の人権が守られるように、対応が求められています。

一方、感染症の拡大を防ぐためには、広くワクチン接種を推進する必要があるとあり、市からその重要性について情報発信し、市民に理解を得た上で接種を選択される方を増やしていく必要があります。

(抜粋)

- ・早く接種したいです。ぜひともお願いします。
- ・ワクチン接種は強制しないでください。
- ・仕事が休めないのが副反応が出たときに困る。
接種したほうが良いのはわかるが、その数日が休めない立場だと接種しない事も選択肢に入ってくる。
- ・妊娠した場合のワクチンの影響が本当はないのかが怖い。
また腕が上がらない、熱が出るなどの副反応も家事育児に影響するため不安。
- ・授乳中でも摂取は可能でしょうか？
- ・副反応により休業しなければならない場合、補償して欲しい。
- ・エビデンスが少ないワクチンの為、何か起きた時の救済が心配。また、接種したら本当に感染しないのか、いつまで効果が持続するのかわからないので、ワクチンの必要性について疑問を感じる時がある。
- ・まだまだ長い人生、コロナにかかるリスクよりワクチンの副作用の方が怖い。
- ・出来れば日本製のワクチンを接種したいです。
- ・母がファイザー製の接種で目立った副作用も無かったので全市民2回の接種はファイザー製にしてください。

④丹波市への意見、要望（回答総数：112件）

○市の適切で迅速な対応を期待されています。

市民が広く支援を実感できる施策や本当に困っている方を対象にした施策を求める意見が寄せられています。

(抜粋)

- ・税金や国民健康保険が高く、明石市のような子育て世帯への支援も少なく、人口もだんだん減っていく一方で、もう少し若い人に優しく若い人に戻ってきてもらえるような支援やたくさん税金を納めてる世代に意味がある政策をお願いします。
- ・ワクチン接種も、補助金も、何もかも他の市と劣っている。
他市から引っ越してきましたが、がっかりしています。
- ・住民税非課税世帯だけでなく、ギリギリで生活してる人だっているんだから公平に給付金を考えてほしい。
- ・丹波市 良い街だと思って生活しています。
基本的には満足しています。
ただコロナに関しては慎重すぎる気もします。
他の市の良いところを真似で良いので迅速な対応をお願いいたします。
- ・結婚した子育て世帯に移住してもらい、その人達に空き家を活用してもらいながら、リモートワークできる環境を整えてほしいです。
- ・無駄にお金をばら撒きするのはやめてほしい。そんな事なら税金下げて欲しい。
- ・中小企業者事業継続応援金の対象者を再検討してください！！
- ・農業施策にもっと補助を。
- ・市民税が高い。(県で2番?)
- ・Webでのコロナ情報が分かりにくいです。
福知山市の情報は一目で理解できます。
ホームページ全般に丹波市は(県かも)もう少し改善して欲しいです。